

salomb 活用による パーマ 形成性 検証報告書

～ salomb 水と水道水の左右同時比較による自社検証結果 ～

表 題	salomb 導入によるパーマ形成性についての検証試験
試験目的	同一マネキンの左右で洗髪水（salomb 水／水道水）のみを変え、同一条件でパーマ施術を行い、カール・リッジの出方の差を比較する。
試験実施	株式会社 salomb 自社検証
検証日	2024 年 9 月 17 日
報告日	2024 年 9 月 20 日

1. 試験目的

salomb 水による洗髪が、パーマの形成（カール・リッジの出方）に与える影響を検証することを目的とした。同一の人毛マネキンを左右に分け、左半分を salomb 水、右半分を一般水道水で洗髪し、その後は左右同一のパーマ施術を同一条件で行った。洗髪に用いた水の違い以外は同条件としたうえで、ウェット時およびハーフドライ時のカール・リッジの出方を比較した。

2. 試験方法

【使用材料】

項 目	内 容
試験水①（試験群／左半分）	salomb 水（salomb 機器で生成）
試験水②（対照群／右半分）	一般水道水
パーマ剤	市販パーマ剤（左右同一を使用）
被験体	人毛マネキン × 1 個

【施術手順】

手 順	内 容
① 左右で洗髪	同一マネキンの左半分を salomb 水、右半分を水道水で洗髪する
② パーマ施術	左右同一のパーマ剤・同一条件でパーマ施術を行う
③ ウェット時撮影	濡れた状態でカール・リッジの出方を撮影する

手 順	内 容
④ ハーフドライ時撮影	半乾きの状態で同一条件で撮影する

3. 試験結果

【ウェット時の比較（左：salomb 水 / 右：水道水）】



左（salomb 水）側の方が、カールがしっかりと巻き上がり、リッジ（カールの立ち上がり）が明瞭に出ている。

【ハーフドライ時の比較（左：salomb 水 / 右：水道水）】



乾かす過程でも、左（salomb 水）側はカールのまとまり・リッジが保たれており、右（水道水）側との差が確

認できる。

4. 試験結果と考察

洗髪に用いた水以外は同一のパーマ剤・同一条件で施術したにもかかわらず、salomb 水で洗髪した側（左）の方が、ウェット時・ハーフドライ時ともにカールが明瞭で、リッジが出やすい傾向が確認された。これは、salomb 水による洗髪によって毛髪へのパーマ剤のなじみが良くなったことが一因と推察される。

※ 本結果はカール・リッジの見え方に関する自社観察であり、パーマ剤の浸透量等の数値測定は行っていない。仕上がりは毛髪の状態・施術条件の影響を受ける可能性がある。

■ 結 論

salomb 導入により、同一のパーマ剤・同一条件であっても、salomb 水で洗髪した側の方がカール・リッジが明瞭に出やすくなる傾向が、自社検証により確認された。

salomb 水による洗髪は、パーマの仕上がり（カール形成）の面で有用であると考えられる。

以上